

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添	なし
----	----

応募概要	分野	演劇	種目	演劇
	応募区分	一般区分		
	複数応募の有無	有	応募総企画数	3企画
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※	複数の企画を実施可能		

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要

ふりがな	かぶしきがいしゃ げきだんげいゆうざ		
制作団体名	株式会社劇団芸優座		
代表者職・氏名	代表取締役・平塚仁郎		団体ウェブサイトURL
			http://www.geiyuza.com
制作団体所在地	〒 182-0025	最寄駅(バス停)	京王多摩川駅
	東京都調布市多摩川2-28-4		
制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input checked="" type="checkbox"/> ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です		
ふりがな			
公演団体名			
代表者職・氏名			団体ウェブサイトURL
公演団体所在地	〒	最寄駅(バス停)	
制作団体 設立年月	昭和47年11月		
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	代表取締役	平塚 仁郎	制作部 7名 文芸演出部 3名 俳優部 36名 (他に研究生) 加入条件:18歳・高卒以上 (制作は面接、俳優はオーディションで選考)
	取締役	村田 里絵	
		平塚 奈々	
監査役	川口 勝也 平塚 キク		
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者 を置く	本事業担当者名	村田里絵
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	伊澤智子
本応募にかかる連絡先	メールアドレス		電話番号
	geiyuza@mri.biglobe.ne.jp		0424894555

## 制作団体沿革・主な受賞歴

昭和47年に㈱総合プロモーションを設立後、舞台やTV番組の制作をはじめ広いジャンルでの活動をしつつ、「面白く確かなテーマで」を創造理念として劇団を創設しました。以来「児童青少年の為だからこそ最高の演劇を」と、総合芸術である舞台劇の魅力を最大限伝えるべく全国で公演を続けています。平成3年、㈱劇団芸優座と改称し、平成10年より事務所・稽古場を現在地に構えています。劇団として、常に高い専門性を維持するために、新人から中堅・ベテランに至るまで、発声・歌・ダンス・日舞等、専門家の指導の下での基礎訓練を重ねると同時に、児童青少年から大人一般まで、それぞれを対象とする様々な作品の自主公演実施など、日常的な鍛錬を日々欠かしません。おもな受賞歴としては、厚生労働省社会保障審議会推薦「一休さん」等の他、代表・平塚仁郎が令和5年度文化庁長官表彰を、副代表・村田里絵が令和6年度O夫人演劇賞を拝受しました。

(公社)日本児童青少年演劇協会・(公社)日本劇団協議会・児演協等 加盟

## 学校等における公演実績

令和7年度上演中の小学生向けレパートリーは7作品。「天狗山のトロップ」は昭和47年の初演以来、既に2000ステージを超え、「パパはマジシャン」は平成18年度「本物の舞台芸術体験事業」で採択されました。令和元～6年「文化芸術による子供育成総合(推進)事業～巡回公演事業」で採択された「一休さん」のほか、「グリムのハンスと大悪魔」「秘密のロビンの大冒険」「角～いじめっ子姫の物語」は好評を頂き続演中です。さらに、自由な構成と新たな手法で注目された「絵本の扉～新美南吉篇」や「ママの思い出」「幕があがるまで」も公演数を伸ばしています。

令和6年度、劇団レパートリー12作品の実績は、全国で合同公演も含め、高校42回、中学校19回、小学校38回、教育委員会主催公演・公文協など41回となっています。

作品ごとの、過去10年間の公演実績は以下の通り

## &lt;小学校向け作品&gt;

天狗山のトロップ	231回
グリムのハンスと大悪魔	256回
パパはマジシャン	156回
秘密のロビンの大冒険	190回
一休さん	465回
角～いじめっ子姫の物語	395回
絵本の扉	61回
ママの思い出	18回
幕があがるまで	15回

## &lt;中学校・高校向け作品&gt;

ベニスの商人	948回
アンクルトムの小屋の灯に	145回
最後の一葉	264回
チェーホフ先生こんにちは	72回
それぞれの絆	25回
昇らぬ朝日のあるものを	52回
F.N.～ナイチンゲールの肖像	4回

## 特別支援学校等における公演実績

この作品における最近の公演実績は年間2校程度ですが、これまで各校の実情に合わせ、先生方と共に力を合わせ公演を成功裏に実現させてきました。何より大切なのは入念な事前の打ち合わせと準備であり、この事業においても(令和7年度は大阪立東淀川支援学校にて実施)、結果的には、ワークショップ・公演共ほ当初計画の通り実施することができています。例えば公演については、聴覚障害のある生徒さんには字幕スーパーや手話を準備、視覚障害のある生徒さんには、音楽性を重視し、実際に舞台上がってもらうなど事前事後の指導を徹底し、肢体不自由の生徒さんには車いすの為のスペースや段差等、観客席を工夫したり、大きな音が苦手な生徒さんは座る場所を予め変えたり、別室での鑑賞を用意するなど、様々な工夫してきました。共演や体験については、本番の舞台でも先生にお近くに控えていて頂いたり、先生と一緒に同じ役を演じて頂くなど、生徒さん方に合わせ柔

参考資料	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	https://drive.google.com/file/d/1PJR8-NcZbyjd76B1OWr7BD1UNoafdz40/view?usp=sharing	
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	ID:	なし
		PW:	なし

別添

あり

【公演団体名 株式会社劇団芸優座 】

対象

小学生(低学年)

○

小学生(中学年)

○

小学生(高学年)

○

中学生

○

企画名

おしばいって、おもしろい！

企画のねらい

**低学年から大人までが楽しめる、見ごたえのある舞台！**

まずは面白く、わかりやすく！ おおらかな笑いに満ちた魅力的なストーリーと確かな演技、オーソドックスで美しい舞台にご注目ください！ 初めて舞台劇を観る方にも最適。忘れがたい鑑賞体験にします。

**たったひとつの、この時この場所を共有する「共に創る」体験！**

幕開きと同時に会場全体が一体感を感じ、「共に創る」ことを実感できるような参加の体験を目指します。また「共演」は、演じる側・見る側共に、特別な思い出になると同時に、演劇の本質を感じて頂きながら、日常生活の様々なシーンでの有効な手法としてのいろいろを体験して頂けるよう工夫します。

**観劇後、みんなでたくさんお話ができます！**

低学年から大人まで、それぞれに相応しいテーマがあり、観劇後はその感動と共に、教育的効果も得られます！

### 演目概要

#### ●あらすじ・・・ ご存じ、とんちの一休さん！

##### 第一幕 「この橋わたるべからず」（お寺の大広間）

安国寺で修行に励む一休さん、明るく悪戯好きで、とんちにかけては將軍様の耳に届くほど。村のお代官様が、とんち話を聞きに来て・・・みんな知ってる一休さんのとんち話がたくさん出てきます！

##### 第二幕 「言わずに書いた」とはなんのこと？（お寺の門前）

賢い一休さんのもとには、困った事があると村の人たちが相談にやってきます。今日も次々と難題が持ち込まれますが、はたして一休さんは、その難題を解決できるのでしょうか？

##### 第三幕 なぞなぞ遊び（里山の夕景）

一休さんや小僧さんたちが村の子供たちが、ひととき、美しい里で一緒に遊びます。なぞなぞに歌や踊りと大盛り上がり！

##### 第四幕 母上に会いたい（お寺の大広間）

修行中の一休さんのもとに、ある日突然、母上が訪ねて来ました。でも実は、この二人には会ってはならない理由があったのです。そこへ、村のお代官様たちが取り調べにやってきて・・・はらはらドキドキ、感動の母と子、再会と別れの物語！

#### ●テーマについて・・・ それぞれの年齢層に響く明快で深いテーマがあります

##### ☆目標をみつこう！

お寺で修行に励んだ一休さん。どんなに辛く寂しくとも、常に前向きであろうとし、遂には、偉い人より尽くす人を目指すようになります。そして、大事なものは、目標を持つことそのものだとなります。

##### ☆「とんち」は争いを避けるための手段としてのユーモア

一休さんのとんちは、無駄に争うことを避けるための手段でもありました。そんなユーモアに、今だからこそもう一度注目したいと思います。

##### ☆人はみな平等

その子をそのまま受け入れ、厳しく優しく見守る和尚様が、事あるごとに教えているのは、「人はみな平等」ということ・・・それを、一休さんたちと共に心に刻みたいと思います。

##### ☆親の愛は無償の愛・・・

共に過ごす時間は少なくとも、親の愛も子の愛もしっかり繋がることを再確認しつつ、離れて暮らさなくてはならなかった一休親子の、生涯で一度だけの再会となったその場に立ち合ってください。

### 演目選択理由

公演の目的に合わせて・・・生徒さんの創造力・想像力を培い、コミュニケーション能力の向上と同時に、「演劇の楽しさ」を知ってもらうことで、将来の演劇観客人口の育成を図ることを目的とした作品を選定。

事業効果の向上を図るために・・・生徒さんと共に、保護者の皆様など大人も楽しめる作品を選定。

第三者の評価から・・・公益社団法人日本児童青少年演劇協会主催「児童青少年演劇地方巡回公演」において、特に芸術的にも教育的にも効果が高いとの評価を得た作品を選定。

(別添1参照)

児童・生徒の参加 または体験の形態	全員参加！・・・呼びかけのセリフと歌(「お掃除の歌」)は全員参加です(ジェスチャーや手拍子も可！)。					
	俳優として共演・・・村の子どもたちとして2場面に9名程度出演します。衣装もメイクも本格的。					
	エキストラにはさせません。また、俳優以外でも、歌(「夕焼けの歌」)での参加もできます。					
	スタッフとして参加・・・ 場内アナウンスや裏方のお手伝い(3名程度まで)。					
	チャンスは「俳優さん」だけではありません！					
	その他の体験(バックステージツアーや交流会)・・・ お別れのその時まで！					
	(別添2参照)					
児童・生徒の 参加可能人数	本公演			参加・体験人数目安		共演は7～20名程度(WS第一部は全校対象)
				鑑賞人数目安		50～1000名程度
本公演演目  原作/作曲 脚本 演出/振付	『 <sup>いっ</sup> 一 <sup>きゅう</sup> 休さん』 (途中休憩10分あり)					
	脚本 平塚仁郎 演出 村田里絵					
	公演時間	90	分			
出演者	西田 廉義 前澤 まや	山田 悦子 松本 和也	百瀬 豊 鷹野 裕美	田中 強悟 川崎 綾香	江口つかさ 貞方友香里	吉原 峻河
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度	メインキャスト・・・ 西田廉義(劇団俳優部所属・制作兼務・在団28年) 川崎綾香(劇団俳優部所属・舞台芸術学院卒) 脚本・・・ 平塚仁郎(劇団代表・俳優) 演出・・・ 村田里絵(劇団副代表・劇作家)					
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数 含む	出演者:	11	名	運搬	積載量:	3 t
	スタッフ:	3	名		車 長:	6.15 m
	合 計:	14	名		台 数:	1 台

<b>本公演 会場設営の所要 時間 (タイムスケジュール の目安)</b>	前日仕込		無		前日仕込所要時間		3	時間程度
	到着	仕込		上演	内休憩	撤去	退出	
	8時	8～11時(共演生徒さんの リハーサル11時～)		13～14時30分	10分	15～16時30分	17時	
	※本公演時間の目安は、概ね2時間分程度です。							
<b>本公演 実施可能日数 目安</b>  ※実施可能時期につ いては、採択決定後 に再度確認します(大 幅な変更は認められ ません)。	6月		7月		8月		9月	
	22日		22日		20日		19日	
	10月		11月		12月		1月	
	21日		19日		19日		19日	
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。				計		161日	
<div> <div> <p>第一幕</p> <p>この橋わたるべからず (お寺の大広間)</p>  </div> <div> <p>第二幕</p> <p>「言わずに書いた」とは なんのこと？ (お寺の門前)</p>  </div> <div> <p>第三幕</p> <p>なぞなぞあそび (里山の夕景)</p>  </div> <div> <p>第四幕</p> <p>母上に会いたい・・・</p>  </div> <div> <p>体育館での仕込み例(お寺の大広間)</p>  </div> <div> <p>生徒さん出演中！</p>  </div> </div>								
<b>著作権、上演権等 の許諾状況</b>	各種上演権、使用权等の許諾手続の要 否		該当なし		該当コンテンツ名			
	該当事項がある 場合	権利者名			許諾確認状況			

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。



別添

なし

【公演団体名

株式会社劇団芸優座

】

ワークショップの  
ねらい

- ねらい ①児童・生徒の想像力・創造力を培う  
 ②児童・生徒のコミュニケーション能力の育成を図る  
 ③児童・生徒の自己肯定感を高め、自主的自発的に行動する力を養う  
 ④演劇の楽しさを知り、将来の演劇の観客人口の育成を図る

## ◎事前の鑑賞指導

作品の背景等を知ること、積極的で深い鑑賞が可能となり、理解が深まり、より楽しめます。なにより本番当日を心待ちにしていだけます。

## ◎一緒に動いてみよう！

体験・共演を通じて、舞台芸術が身近になるでしょう。覚えた事を間違えないようにやるのが目的ではなく、自ら心身共に解放して、自分を表現する事の喜びこそを経験して頂きたいと思います。同時に、短時間に協力関係を築き、共に何かを創るという経験は今後のコミュニケーション能力の向上に繋がります。

## ✧結果として・・・

実施後、多くの学校で、「児童・生徒たちの、これまで学校や授業では見せたことのない顔が見られた」「思いがけない生徒が参加を希望し、生き生きと活動し、驚かされた」といったお声を度々頂きます。ワークショップの大きな意義がここにもあると思います。

児童・生徒の  
参加可能人数

ワークショップ

参加人数目安

第一部:全校生徒 第二部:6～20名程度

ワー  
ク  
シ  
ョ  
ッ  
プ  
の  
内  
容ワークショップ  
実施形態及び内容

## 実施形態について

第一部(45～50分)・・・ 全校のみなさん対象(体育館)に事前鑑賞指導・実技の体験

第二部(45～90分)・・・ 共演生徒さん対象(体育館・大教室・レクリエーションルーム等)に、共演の為に演技指導(所要時間は人数による)

## 実施内容について

## ●鑑賞指導

プロジェクターでの美しい映像を見ながら、作品の粗筋やテーマ・見どころ、時代背景や舞台となっている当時の京都、一休禅師の生涯についてなど、簡潔に説明します。さらに、舞台芸術が観客と共に創造していくものであることを実感して頂くことを目標に、「生」の舞台芸術を鑑賞するためのポイントもわかりやすくお話しします。(所要時間は15分程度です)



プロジェクターで写真を見ながら、作品の解説を聞いています。


## ●実技指導

第一部の後半では、30分程、俳優たちが日々実践している発声・発音の練習、呼吸法や緊張をほぐす方法等を紹介し、俳優たちと一緒にやってみます。続いて、全員参加の場面のお稽古としてセリフのきっかけを覚えたり、歌の練習をします。



第二部では、共演する生徒さんのみを対象に、15～30分ほどウォーミングアップとして、簡単なインプロゲームをいくつか体験し、続いて、誰でもできるシンプルで簡単なエチュードなどの訓練を紹介・体験します。

その後、「出演シーン」を公演DVDの映像で確認し、イメージを胸に、共演内容ごとに分かれてお稽古をします

	<p>第二部後半は、実際に<b>お芝居などのお稽古</b>をします。特に予習は必要ありません。各役の置かれている状況についての解説を聞いた後、それぞれのセリフや動きを覚えたり、生徒さん方ご自身のアイディアを大切にしながら、その役について研究します。最後に、衣装合わせと打ち合わせ(メイクは当日のみ)をして終了です。</p>  <p>舞台の上で、立ち位置を確認します。</p> <p>❖「俳優さん」以外をご希望の児童・生徒さん方も、第二部前半までは一緒に体験して頂きますが、その後は役割ごとにそれぞれ分かれての練習になります。</p> <p>「歌」をご希望の生徒さん方は、事前に楽譜をお送りしますので、それをもとに練習し、さらに舞台への出入りを確認します。</p> <p>「スタッフ」は、舞台や大道具についての説明を受けた後、仕事の役割分担をし、「場内アナウンス」などの練習をします。舞台芸術は俳優だけでは完成しないのだということ、力を合わせて一つのものを創り上げる喜びを是非とも感じて頂きたいと思います。</p> <p>❖全体参加の練習は、本番まで継続して頂けるよう音源のCDをお送りします。</p> <p>❖共演についてはご参加がなくても舞台は成立します。</p>
<p>その他ワークショップに関する特記事項等</p>	<p><b>学校のニーズに対応！</b></p> <p>演劇的アプローチにより、文化祭・演劇発表会のみならず、授業での発表や朗読など、様々な<b>学校の日常のシーン</b>において「効果」を上げるための練習方法が体験できます。</p> <p>具体的には発声法や発音の練習の他、注意の集中、リラックスして実力が発揮できるようにするための練習などなど・・・</p> <p>事前の打ち合わせで学校のご希望や実情をうかがい、プログラムを作っていきます。</p>

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。



一般区分・特別エリア区分共通  
No.4(共通)

別添	なし
----	----

【公演団体名 株式会社劇団芸優座 】

記載方法等

例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。

- ・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。
- ・搬入車両が構内に入らず、搬入のための追加費用が生じてしまった。
- ・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。

上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。

任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。

詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただくことになります。

なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。

会場条件

(必須)	公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。									
会場の設置階の制限		2F以上応相談		主幹引き込み電源容量			75 A以上			
舞台設置面積	間口	7.2 m		奥行	5 m					
	高さ	4 m								
舞台設置場所	フロア対応	不可		学校のステージでの対応			可			
搬入間口の広さ	幅	2 m		高さ	2 m					
遮光の要否	7割程度必要		緞帳の要否			必ず必要				
ピアノの使用について	使用しない		ピアノを使用する場合の設置位置の指定			なし				
			ピアノを使用しない場合の移動の要否			要				
搬入車両(トラック等)の横づけ	必須		トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離			10 m以内				
搬入車両の種類	ハイエース		台数	3 台						
搬入車両の大きさ	車幅	1.69 m		車長	5.08 m					
備考	一部条件を満たしていない会場でも対応可能な場合もあり、実施校の状況に応じた対応をします。また、搬入車両3台の内、1台は3tトラックで、車幅2.21m車長6.15m高さ2.18m(ハイエースは2台)となります。									

※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

学校からの情報

(任意)	学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。	
会場図面の提出要否	不要	
その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)	必須ではありませんが、搬入間口や舞台袖空間の状況の分かる写真などがあれば幸いです。	

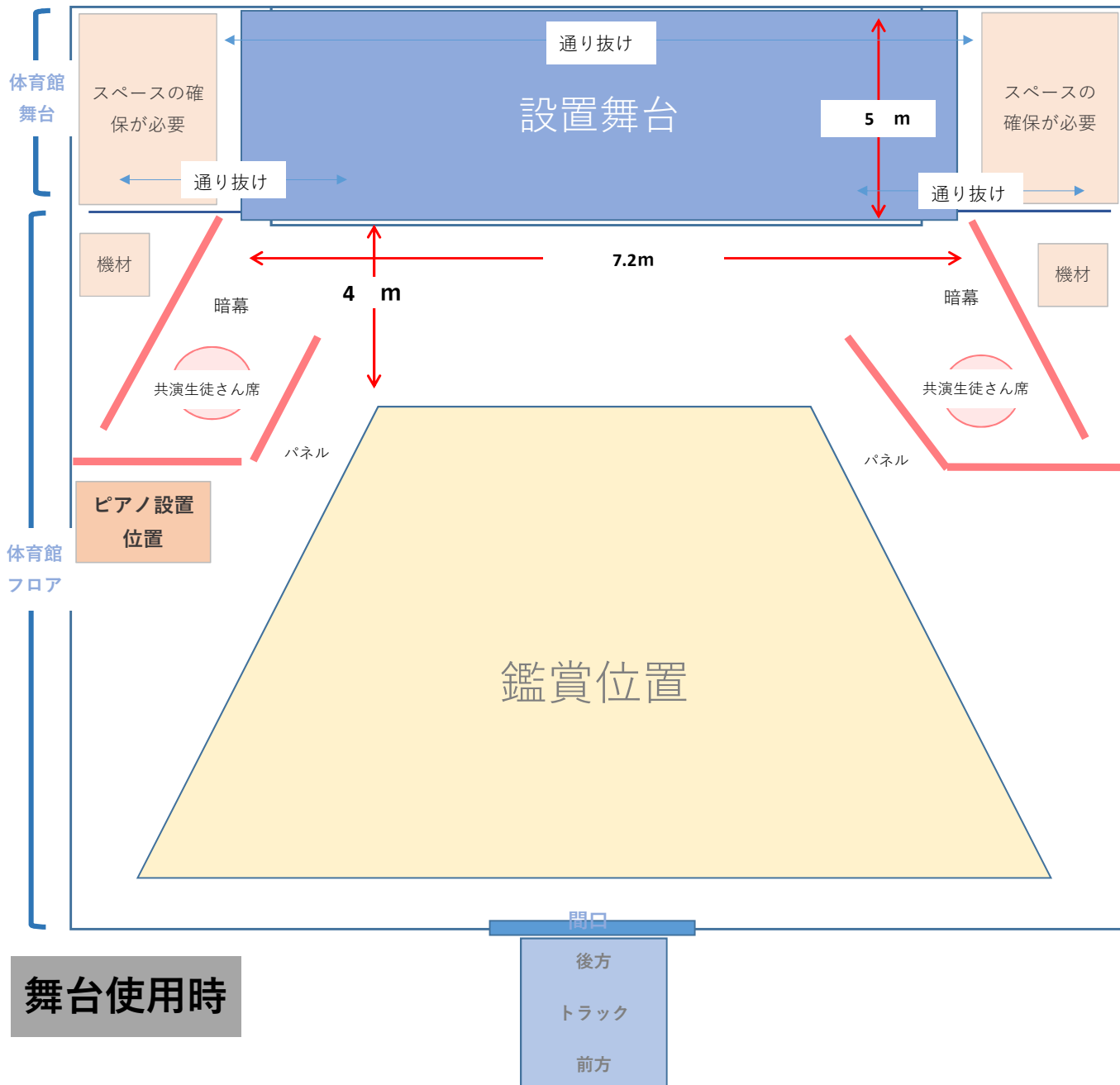
時間外対応	(任意)	万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合については、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。				
	なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。					
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。					
		対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ	共演、参加又は体験対象となる児童・生徒	45～90分程度	いつでも可	ワークショップ第二部として、共演希望者がいる場合に実施。準備運動を兼ねてのインプロゲームによりチームビルディング、続けて共演シーンの稽古。	共演の児童・生徒のみ授業を抜けての参加。所要時間は人数と参加希望のシーン数による。人数によって、前半のインプロゲーム等の準備運動は共演者以外の参加も可能。
ワークショップ						
本公演	共演、参加又は体験対象となる児童・生徒	45～60分程度	舞台設置後(午前中)	リハーサル	共演の児童・生徒のみ授業を抜けての参加。所要時間は人数と参加希望のシーン数による。共演者以外の見学・バックステージツアーも可能。	
本公演	共演、参加又は体験対象となる児童・生徒	30～45分程度	開演前	メイク・着替え等の準備	共演の児童・生徒のみ授業を抜けての参加。所要時間は人数による。開演直前が望ましい。	

個別確認事項	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。	
		個別ヒアリング事項	
	1	ステージ上にピアノがある場合、客席から見えない位置に移動可能か(フロアーに降ろせるか、あるいは袖空間におさまるか)予めお知らせ頂けますか？	
	2	舞台袖空間の有無とおおよその状況を予めお知らせ頂けますか？	
	3	ご希望の開演時間によっては、前日仕込みが必要となる場合もありますがご対応は可能でしょうか？	

(任意) 会場条件について最低限必由奈条件がある場合、簡易図面を記載してください。

※搬入に関する条件の詳細については、上記の会場条件欄にて確認してください。

会場簡易図面



別添

なし

【公演団体名

株式会社劇団芸優座

】

## 【本事業を通じて実現したいこと】

いわゆる芸術が、生きていく上での大切な支えになると同時に、人生を美しく豊かにする事は言うまでもありません。一人で生きる時も人と生きる時も、その為に必要な知恵や勇気や想像力は、演劇から得られると信じます。そんな演劇と、子どもたちの日常である学校の時間の中で、しかも、**身近な体育館という場**で出会って頂きたい。そしてそれは、確実に子どもたちの**芸術鑑賞能力の向上**につながり、さらには、**発想力・想像力を育む**ものと信じます。

私共は劇団創設以来50年、学校演劇教室・芸術鑑賞教室に携わり、生徒・児童のみなさんための舞台・演劇作品を創り続けてきましたが、それゆえ、殊に体育館での上演には拘りを持って来ました。私共が持つ信念、経験・実績は、この事業のためにも生かせるものと確信しております。

また、この事業の目玉ともいべきワークショップと共演ですが、**事前交流と鑑賞指導**は、**非常に積極的で深い鑑賞につながり**、さらに、同校の生徒さんや先生方が共演するというのが、芸術そのものを身近にし、本番を益々楽しみなものにします。また、演劇とは何かを知ること、実技を体験することは、**将来の俳優や舞台芸術にかかわる芸術家を生むきっかけ**となり得、意味深いものですが、たとえ短い、部分的な場面であっても、**共に創りあうこと、実現させることの充実感や楽しさ、喜び**は大変貴重な経験になるでしょう。それはまさに**次代の文化の担い手**、芸術を享受し支えていく者を育てることにつながると信じます。ワークショップや共演の内容においても、その経験が**子供たちのコミュニケーション能力の向上**そのものにも資する様、常に反省と工夫をし、生きたものにするべく努力します。

さらにこの取り組みは、単に学校に劇団が来て公演をするということだけではなく、大人の、プロの役者が、設営から上演・撤収までをお見せすることで、つまり、学校内で先生方以外の、**信念や夢を持ってその仕事に取り組む大人の姿**として、生徒さん方の将来へのなんらかのメッセージになるとも信じます。だからこそ、ただ公演すればよいということではなく、いつもの体育館を劇場のように変え、その日そこでただ一度だけの公演を共有することに努めると同時に、全てをお見せする覚悟でのごぞみたいと思っています。

非常に忙しい学校の現場で、**演劇教室**の意義や重要性・必要性をご理解頂き、先生方と共に、それを創り上げることが、単独の劇団の努力だけでは益々難しくなっている昨今、この事業は、学校にあらためてそれを具体的に感じて頂ける絶好の機会になっています。そして、最大限そのチャンスを生かすためには、何よりもまず第一に、私共の創りうる最高の舞台をご覧いれなくてはならない、**一期一会の出会いとの覚悟をもって日々最善を尽くさなくてはならない**と思っています。

この事業を通してもたらされる「ふれあい」「発見」「協調」、そして「創造」・・・それらは、学校生活のほんの一頁を飾る、数ある学校行事の中の一つにすぎないかもしれませんが、でも、特別な輝きを持つものとして生徒さんたちの心に残したい・・・その為に、特にワークショップの内容は、**各学校の現状に則した効果的なもの**になるよう努めます。

この事業によって、ただ公演して終わりではない、そんな演劇教室の可能性が大きく広がったと同時に、生徒さん方に芸術との出会いの場を創る事は、私共にとっては使命であると同時に喜びでもあることを再認識させて頂きました。そのことに深く感謝すると共に、その一端に携わることが出来ればこの上も無い喜びです。

本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫

## 【上記の実現に向けて、実施の工夫】

## なにより事前の打ち合わせを大切にします

生徒さん方に満足して頂ける、**その学校らしい体験・鑑賞にしたい**・・・そのために最も重要なことは、**学校それぞれの独自性や豊かな多様性**を、私共がいち早く知り、少しでも理解することだと考えています。そのために、担当の先生方との事前の打ち合わせを、何度でも丁寧に行います。何を指すか、どんな効果を目指するか、先生方と沢山お話をさせて頂き、「学校」と劇団が共に創る、その過程を大事にします。

## ◎ワークショップについて

その時間を安心してお任せ頂けるよう、先生方に具体的に説明し、その上で、ご希望などをうかがい、学校の状況に応じた**オリジナリティのある形の実現**を目指します。

## ◎継続的なサポート

ワークショップから本番までの間、**共演内容**の継続的なお稽古と確認、また、当日を楽しみにお待ち頂くための**公演の「宣伝」**のご協力など、連絡を途絶えさせないようにします。

## ◎公演について

これまで50年にわたり体育館で公演し続けてきたそのノウハウには自信がありますが、さらに最大の効果が上がるよう、舞台監督等が**下見をさせて頂いた上で入念に計画**を練ります。また、安全や換気について配慮し、私共の行動経路の限定、生徒さん方の入退場や座席の位置について綿密にご相談いたします。

## 【学校との連絡調整について】

## スムーズに、より確実に打ち合わせを大切にします

ご担当の先生方が日々お忙しい中でのご対応であることを常に忘れず、毎回短時間で漏れの無い打ち合わせを心掛けます。

★まず文書で、ワークショップと公演の内容、実施までのタイムスケジュール、学校にご準備頂くものやお決め頂く事や会場条件などを、**出来るだけ具体的**にお知らせし、その後、電話・メール等で疑問点や必要事項を伺い、双方の理解を深めます。

★新学期の早い時期にご連絡し、ご担当がお代りになっている場合は事業の目的などからお話をさせて頂き、事業のHP、郵送した資料のご確認をお願いします。

★連絡手段は、それぞれの先生にとって便利なツールがあるので必ず確認します。また、こちらの窓口は決まっていますが、先生方はお時間の無いところでご連絡頂く事が多いので、劇団内の誰が対応しても話が分かるようにし、決定事項は後日確認が容易なよう、メールや書面など文字に残して、学校と共有するようにします。

## 【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】

## 共演する児童・生徒の皆さんについて

記録用写真の撮影許可に始まり、留意すべき事があるか、事前の打ち合わせの段階で必ず確認させて頂いています。ワークショップも本番も、何より楽しく思い出深い時間になる様、また、この機会によって、さらに自信を感じて頂けるように、お一人お一人を尊重する対応となるよう心がけます(メイクや着替えがある場合は、同性の劇団員が対応しています)。

## 公演当日について

大きな音が苦手な方には、別教室からリモートで観劇して頂いたり、会場が暗くなることに不安を感じないよう、予め説明もしますが、暗転で真っ暗にならないよう照明に工夫するなど、それぞれ学校の実情に合わせて対応できるよう、綿密に打ち合わせをします。

## 【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】

公演終了後、それぞれの感想や疑問などを発表したり、テーマなどについて話し合う機会を設けて頂いたり、感想文や絵などをお書き頂くなど、時間的に負担にならないような振り返りをお願いしています。

また、原作を読むことも、観劇前同様、引き続き推奨しています。

さらに、学芸会などを間近に控えてのご観劇だった場合は、その後も、練習方法や演出、舞台の作り方などのご相談に応じています。

事業を適切かつ  
円滑に実施するための  
工夫

リンク先	No.2	【公演団体名 株式会社劇団芸優座 】
演目選択理由		<p>&lt;公演の目的に合わせての作品選定&gt;</p> <p>公演やワークショップを通じて、児童・生徒のみなさんの創造力・想像力を培い、コミュニケーションを能力の育成を図ることが何より重要です。また、児童・生徒のみなさんに「演劇の楽しさ」を知ってもらうことで、将来の演劇観客人口の育成を図ることを配慮します。以上の目的に合致した作品を選定しました。</p> <p>○ この作品は、演劇としての「<b>観る楽しさ</b>」と共に、たとえば実在した一休さんという人物について、その時代について、あるいは、この作品では取り上げられなかった「とんち話」を調べたりなど、<b>様々な方向に広げ、深めていく事が期待できます</b>。</p> <p>また、ワークショップでは、この体験が、文化祭や発表などだけではなく、日常の学校生活などでも、具体的に役立てて頂けるような取り組みもします。</p> <p>○ 対象を「小学生低学年から中学生」としていますが、それぞれの年齢層に響く深いテーマがあることと、芝居に見応えがあり小学校1年生から大人まで、しっかり楽しく鑑賞して頂いている実績があります。</p> <p>&lt;事業効果の向上を図るために&gt;</p> <p>幕が開くと、そこには、かつて日本中どこにでもあった里山の美しい風景が広がり、一休さんたちや村の人々のように、絆を大切に、たとえ貧しくとも心豊かに、日々を丁寧に生きていた、そんな忘れかけた日本人の姿があります。大人にとっては懐かしい、でも、子どもたちには新鮮な「発見」かもしれません。日本の自然や文化をあらためて見つめ直すきっかけになったら…子供から大人まで、観劇した人みんなで、<b>深く考えたり、語りあえる</b>作品です。</p> <p>&lt;第三者の評価から&gt;</p> <p>公益社団法人日本児童青少年演劇協会主催「児童青少年演劇地方巡回公演」でも、芸優座の作品はいずれも高い評価を得ています。令和8年度は、小学生向け7作品のなかでも、特に芸術的にも教育的にも効果が高いと言われる作品を選定しました。また、この作品は、厚生労働省社会保障審議会の推薦を得ています。</p> <p>○ 初演以来、全国の小学校や鑑賞会等、多くの方がご覧下さり、ご好評を頂いています。「<b>体育館を劇場に</b>」と、あくまでもオーソドックスであることに拘った<b>美しい舞台、明確なテーマとテンポの良い分かりやすいストーリーは、初めて舞台劇を観る方にも、その魅力をしっかり感じて頂けるものと信じます</b>。また平易で分かりやすいセリフとコミカルな動きで、低学年の生徒さんも十分楽しめます。</p>



リンク先	No.2	【公演団体名	株式会社劇団芸優座	】
児童・生徒の参加または体験の形態	「共演」「参加」「体験」の具体的なプランについて			
	俳優として共演			
	生徒さん(先生でも可)5～9名程のご出演を想定していますが、希望人数によってアレンジは可能ですのでご相談ください。勿論、学年・男女・経験は問いません。			
	基本の出演シーンは、			
	● 第二幕「お寺の門前」…… けがをしているおよしさんを助けながら、村で起きている困り事を相談に来る「村の子供たち」として2～3名			
	● 第三幕「里山の夕景」…… 一休さんや小坊主たちとなぞなぞで遊んだり踊ったり、一緒に遊ぶ「里の子供たち」として3～6名			
	さらにご希望があれば 「夕焼けの歌」を歌う合唱隊として歌で出演も可			
	簡単なセリフと動きを覚え、朗読や歌の練習をして頂きますが 一番大事なことは「間違えない」ことではありません。			
	役に扮する事を体験する中で、自分らしさを知り、それを表現する事の楽しさ、積極的にコミュニケーションを図り、互いを信頼することの大切さ、共に創り上げること、そして、演劇の面白さを実感して頂くことです。			
	単なるエキストラではなく、あくまでも共演者として、出演して頂きます。 衣装もメイクも本格的・・・終演後、扮装のまま記念撮影をします。			
(共演する生徒さん方も、しっかり鑑賞できます)				
全員で体験				
呼びかけと歌で誰もが参加できます。				
●幕開きで、他の小坊主たちと声を合わせて一休さんと呼んでください。				
●小坊主たちが歌う「おそうじの歌」を全員で合唱します。 (事前に楽譜とCDをお送りしますので、できればワークショップの後、本番まで、ぜひ繰り返し練習をして下さい。)				
スタッフとして参加				
劇中の演出効果を高めるための手伝いや、開演前や幕間のアナウンス、小道具や衣装の確認など舞台監督助手としてなど、舞台の裏方の仕事も1～4名体験できます。				
舞台芸術は俳優だけでは完成しないのだということ、力を合わせて一つのものを創り上げる喜びを是非とも感じて頂きたいと思います。				
終演後の体験として				
舞台を一層身近に感じてもらえるよう、上演後のバックステージツアーや、俳優達との交流会などが実施可能です。				
また、条件次第では「ばらし作業」の見学やお手伝いもできます。				
「劇場」が、いつもの体育館へと戻っていく様子を目の当たりにするのも、楽しい経験だと思います。				

(夕焼け合唱隊)

